

令和3年度 いじめ防止標語コンクール

優秀賞は6作品あり、毎号紹介しています

むつ市立奥内小学校 3年 工藤 零士

※受賞当時の学校と学年です

優秀賞作品

「たすけてよ」心の声に 耳すませ

「地域の思いをつなぐ」若者育成事業 若者と地域活動者が企画・実践した取組を紹介します!

若い世代の自己有用感*や地域愛を育むことで、将来的な県内定着へつなげることを目的に、令和4年度は県内12の地域活動団体が高校生等の若者をサポートしながら、各地域の実態に応じた活動に取り組んでいます。

*自己有用感：自分が役に立っている（有用である）という気持ち



<p>特定非営利活動法人 日本人財発掘育成協会 (青森市)</p> <p>映像コミュニケーション講座</p> <p>高校生がショートムービーを制作する体験や異年齢交流を行い、コミュニケーションやプレゼンテーションの力を磨くとともに、青森の魅力を発見し、動画で発信しています。</p> 	<p>青森街活サークル秘密結社 (青森市)</p> <p>街 (人、場所、活動) への導入づくり事業</p> <p>街歩きや清掃活動、地域イベントへの参加により、地域にあるコンテンツ (ヒト、モノ、コト) の魅力を体感するとともに、地域参画についての意識の醸成を図っています。</p> 	<p>じゃわめき隊プロジェクト (五所川原市)</p> <p>五能線活性化プロジェクト</p> <p>地域の公共交通機関である五能線について理解を深め、魅力をさらに高めるために、「五能線魅力UPカード」の作成に取り組み、五能線沿線地域の魅力発信と、沿線にある高校との連携に努めています。</p> 
<p>つるた街プロジェクト (鶴田町)</p> <p>地域の若者をもっとを叶える実践サポート事業</p> <p>高校生が小学生の長期休みの宿題である「工作づくり」を応援するため、プラン構想や企画作成のためのワークショップを実施し、「小学生向け工作イベント」を企画しています。</p> 	<p>特定非営利活動法人 SEEDSNETWORK (弘前市)</p> <p>弘前街ナカゼミ「青森が豊か」</p> <p>県外・海外で活躍している料理家・パティシエを講師に、人生のターニングポイントでどのような選択をしたか等の経験談を聞くことで、自身のライフプランを形成する意識の醸成を図っています。</p> 	<p>Asobo! Hirakawa (平川市)</p> <p>中高生が平川市を楽しむイベントの企画実施事業</p> <p>中高生が平川市で行われる朝ヨガ等のイベントにスタッフとして関わり、その経験から自分たちで新たなイベントを企画・実践することにより、若者の主体性及び地域への愛着を育てています。</p> 
<p>Future Generations (十和田市)</p> <p>COMMUCAL プロジェクト</p> <p>「中高生×地域の本気の大人交流会」を開催し、普段接することのない地元で活躍している大人との対話をとおして、地域への愛着を図り、職業観を養っています。</p> 	<p>Misawa English Activities (三沢市)</p> <p>Inspire Me!</p> <p>高校生が地域の大人や外国人と交流し、街歩き等を行うことで、地域の魅力を再発見し見つけ直すきっかけにするとともに、地域愛を育み、自己有用感を高めています。</p> 	<p>東通YOUTH (東通村)</p> <p>高校生目線で新たなイベントを作り出せ!</p> <p>東通村在住の高校生が、村内イベントに参加するだけでなく、自分たちで新たに「村民ボンボン盆踊り及び仮装コンテスト」を企画・運営することにより、地域の良さを再発見しました。</p> 
<p>特定非営利活動法人 シェルフオレスト川内 (むつ市)</p> <p>川内町の先輩にインタビュー! in むつ市川内町</p> <p>むつ市川内町近隣に住む高校生が、住民に対して町の暮らしや歴史、人生観等についてインタビューし、町や住民の魅力について記事にまとめながら、その様子をSNS等で発信しています。</p> 	<p>市民集団まちぐみ (八戸市)</p> <p>高校生とつくる南部せんべいプロジェクト</p> <p>南部せんべいの新たな魅力を探るため、南部せんべいを高校生の感性と新しい視点から考察・検証するワークショップを行い、「今後の南部せんべい」をキーワードにした企画を考え、実施しています。</p> 	<p>サンノヘール (三戸町)</p> <p>新しい地域産品創出チャレンジ事業</p> <p>高校生が行政や民間企業と協働で、地域の特産品を使いフィリピンのスイーツ「タホ」の三戸町版を開発するプロジェクトに挑戦し、地域の大人とつながることで地元定着のきっかけを作っています。</p> 

高校生等の若者と地域活動者による「活動成果発表会」を開催します!

発表会の概要及び参加のお申込みについては、下記ホームページまたは右の二次元コードから御覧ください。

- 日 時 / 令和5年2月5日(日) 13:00 ~ 16:00
- 場 所 / 県総合社会教育センター 大研修室 (青森市大字荒川字藤戸119-7)



学びを支える修学支援制度

高等学校等就学支援金

全ての意志ある高校生が安心して勉学に打ち込める社会をつくるため、生徒に対して授業料に充てる高等学校等就学支援金を支給し、家庭の教育費負担を軽減する制度（返済は不要）です。（以下の内容は、平成26年4月1日以降の入学から適用となっています。）

支給資格（次の要件を満たす必要があります。）

- **在学要件** 高等学校、専修学校高等課程等に在学している生徒
※通算して36月を超えて在学しているなど、在学状況によって対象外となる場合があります。
- **在住要件** 日本国内に住所を有する生徒
- **所得要件** 保護者等の市町村民税の課税標準額に6%を乗じた額から市町村民税の調整控除の額を差し引いた額（両親がいる場合は2名の合算額）が304,200円未満である生徒

支給額

	全日制	定時制	通信制	
公立	9,900円/月	2,700円/月	単位制	1単位 310円
私立	9,900円/月 (年収590万～910万円未満程度)	-	単位制	1単位 4,812円
			上記以外	9,900円/月
	33,000円/月 (年収590万円未満程度)	-	単位制	1単位 12,030円
			上記以外	24,750円/月

〈青森県私立高等学校等就学支援費補助金〉
年収590万～710万円未満程度の場合、県が上乗せして補助します。
(9,900円/月(全日制の場合))
また、生活保護受給世帯及び市町村民税所得割非課税世帯の場合は、新1年生の入学金についても支援します。(上限額50,000円/年)

※保護者の離職や傷病等、家計が急変した世帯のための支援制度もあります。

申請手続

受給するためには、申請手続が必要です。学校から申請手続についてお知らせがありますので、それに従って各学校へ申請書類を提出してください。

問合せ先

(公立) 各公立高校又は教育庁学校施設課 TEL 017-734-9873
<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-shisetsu/koutougakkoutousyuugakusienkinn.html>



(私立) 各私立高校又は総務部総務学事課 TEL 017-734-9869
<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/soumu/gakuji/gakuji-shinko.html>



高校生等奨学のための給付金

授業料以外の教育費負担を軽減するため、一定の要件を満たす高校生等の保護者等に給付金を給付する制度（返済は不要）です。



給付要件

- ・高校生等が高等学校等に在学していること。
- ・高校生等が高等学校等就学支援金の支給資格者又は学び直し支援金の支給権者又は家計急変世帯への支援として実施した授業料減免措置の支給権者であること。
- ・高校生等が平成26年4月1日以降に高等学校等に入学した者であること。
- ・保護者等が青森県内に住所を有していること。
- ・基準日（原則7月1日）において生活保護法による生業扶助を受けていること又は基準日の属する年度分の保護者等全員の道府県民税所得割及び市町村民税所得割が非課税（家計急変により非課税相当と認められる世帯を含む。）であること。

給付額

※高校生等1人当たり

- 生活保護（生業扶助）受給世帯……年額 国公立 32,300円
私立 52,600円
- 道府県民税所得割及び市町村民税所得割非課税世帯（生活保護（生業扶助）受給世帯を除く。）
ア 通信制以外に在学している高校生等

区分	当該高校生等以外に被扶養者である通信制に在学している高校生等が在る世帯の高校生等	当該高校生等以外に被扶養者である通信制に在学している高校生等がいない世帯の高校生等		
		被扶養者である給付金対象外の15歳以上（中学生を除く。）23歳未満の兄弟姉妹がいる世帯の高校生等	被扶養者である給付金対象の2人目以降の高校生等	左記以外の高校生等
国公立	年額 143,700円	年額 143,700円	年額 143,700円	年額 114,100円
私立	年額 152,000円	年額 152,000円	年額 152,000円	年額 134,600円

イ 通信制又は専攻科に在学している高校生等……

年額 国公立 50,500円
私立 52,100円

申請手続

受給するためには申請手続が必要です。学校から申請手続きについてお知らせがありますので、それに従って各学校へ申請書類を提出してください。



問合せ先

(国公立) 各公立学校又は教育庁学校施設課 TEL 017-734-9873
<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-shisetsu/shougakuyuufukin.html>



(私立) 各私立学校又は総務部総務学事課 TEL 017-734-9869
<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/soumu/gakuji/gakuji-shinko.html>



※上記の内容は、令和4年度のものであり、国の制度改正などにより内容が変更になる場合があります。詳細については、ホームページでご確認ください。

青森県学生寮入寮生募集

～東京で経済的な負担が少なく修学できます～

- **入寮資格** 保護者が青森県民で、東京都又はその近郊の大学、専修学校等に在学しているか、令和5年4月に入学見込みの男子学生
- **場 所** 東京都小平市鈴木町1丁目103の1
- **部 屋** 個室で、ベッド、机、エアコン等が備え付けてあります。
- **経 費** 入寮費年額3万円、寮費月額3万円、食費1食450円（平日の夕食のみ）、電気料金実費（上・下水道料金無料）、インターネット月額1,700円
- **募集人員** 約50人
- **募集期間** 令和4年12月1日～令和5年3月29日まで
- **申込方法** 県内の各高校又は各教育事務所にある願書に必要事項を記入の上、添付書類とともに青森県育英奨学会へ提出してください。（大学等の合否決定前に出願できます。）
- **問合せ先** 在学する学校 詳しくは、こちらから→



奨学金制度のご案内

高等学校等奨学金

～部活動費、資格試験代、通学費等にご利用ください～

- **申込資格** 保護者が青森県民で、学業、人物が優れているにもかかわらず経済的理由により修学困難な高校生等に対して奨学金を貸与します。
- **貸与月額** 次のうち、奨学生が必要に応じて希望する金額
ア：18,000円 イ：23,000円
ウ：30,000円 エ：35,000円
- **返 還** 無利子で、貸与終了後1年据え置き、貸与期間の3倍の期間内に全額返還(3年間貸与を受けた場合は9年間で返還)。また、失業等で返還が困難になった場合は、返還猶予制度があります。
- **返還免除** 詳しくは、右に記載の「高等学校奨学金通学費等返還免除制度」をご覧ください。
- **採用の種類**



	対象者	募集期間
定期採用	高等学校等に在学する生徒	4月上旬～4月下旬
緊急採用	災害、離職等による家計急変があった高等学校等に在学する生徒(事由発生から1年以内の方)	随時
予約採用	高等学校等に入学後、奨学金の貸与を必要とする中学3年生	7月上旬～9月中旬

- **申込方法** 県内の各学校に配布してある申込書に必要事項を記入の上、添付書類とともに在学する学校へ提出してください。

詳しくは、県庁HP

大学入学時奨学生募集

～大学入学時に必要となる経費に充てるための奨学金です～

- **申込資格** 保護者が青森県民で、生活保護受給世帯若しくは市町村民税所得割非課税世帯又は児童養護施設等入所者のうち、令和5年4月に大学入学見込みの生徒に対して奨学金を貸与します。なお、家計が急変し、市町村民税所得割非課税世帯相当と判断される場合も申込ができます。
- **貸与額** 10万円を単位とし、60万円以内の必要な額
- **貸与時期** 大学の合格後(令和5年3月までの間)
- **返 還** 大学卒業又は退学した月の翌月から起算して1年経過後8年以内に全額返還(無利子)。また、失業等で返還が困難になった場合は、返還猶予制度があります。
- **募集期限** 令和4年12月23日(金)
- **申込方法** 県内の各高等学校等にある申込書に必要事項を記入の上、添付書類とともに在学する学校が指定する日までに同校へ提出してください。(大学の可否決定前に出願できます。)
- **返還免除要件** (次の要件を満たす場合、願い出により奨学金の返還が免除されます。) 大学卒業後1年以内に青森県内に居住及び就業(公務員を除く)し、引き続き3年を経過すること。



詳しくは、県庁HP

高等学校奨学金通学費等返還免除制度

～通学費又は下宿費の支払にかかった経費について
高校奨学金において返還を一部免除する制度です～

- **対 象** 公益財団法人青森県育英奨学会の高等学校奨学生のうち、次のすべてに該当する方が対象になります。(専攻科を除く。)
(1) 奨学生が属する世帯が市町村民税所得割非課税世帯(生活保護法による生業扶助を受給している世帯を除く。)であること。
(2) 通学費では1月あたり1万円、下宿費(寮を含む。)では1月あたり1万2千円のいずれかを超える額を負担していること。
なお、市町村から通学費等に係る支援を受けている場合は、それを差し引いた本人負担額によります。
- **対象経費等** 次による通学費等の1月あたりの実費相当額
(1) 通学費－奨学生の氏名が記載された以下①、②の通学用の定期券等の金額(バスカード、回数券は不可) ①電車、バス ②スクールバス
(2) 下宿費又は寮費－経費の名目(入寮費、共益費、管理費等)に関わらず契約書等に記載された金額
- **返還免除額** 奨学金の貸与月額又は通学費等の1月あたりの実費相当額(千円未満の端数は切り捨て)のいずれか低い方の額から通学費では1月あたり1万円、下宿費(寮を含む。)では1月あたり1万2千円を差し引いた額

(計算例) 通学定期券(月単位)の場合
ア 1月あたり通学費が奨学金の額を超える場合
奨学金月額…18,000円 1ヶ月定期…25,500円→25,000円(千円未満切り捨て)
返還免除額…18,000円－10,000円＝8,000円/月
イ 1月あたり通学費が奨学金の額を超えない場合
奨学金月額…18,000円 1ヶ月定期…15,800円→15,000円(千円未満切り捨て)
返還免除額…15,000円－10,000円＝5,000円/月

- **申込方法** 県内の各高等学校等にある「高等学校奨学金一部返還免除届(通学費等)」を1月中旬までに同校へ提出してください。(一部返還免除該当者は、年度末に、費用負担したすべての通学定期券のコピー又は下宿等の契約書のコピーを提出していただきますので保管をお願いします。)

詳しくは、県庁HP

大学奨学生募集

～充実した大学生活を送ろう～

- **申込資格** 令和5年4月に大学入学見込みの方で、保護者が青森県民であり、他から奨学金の貸与予定がない方(併願はできますが、併給はできません。)
- **募集人員** 90人
- **貸与月額及び貸与期間** 月額44,000円 4年間(医学科等は6年間)
- **返 還** 無利子で、貸与終了後1年据え置き、8年間で全額返還。また、失業等で返還が困難になった場合は、返還猶予制度があります。

貸与総額 (4年間貸与)	返還 年数	月賦の場合		半年賦の場合		年賦の場合	
		金額	回数	金額	回数	金額	回数
2,112,000円	8年	22,000円	96回	132,000円	16回	264,000円	8回

- **申込方法** 県内の各高校及び各教育事務所にある願書に必要事項を記入の上、添付書類とともに、令和5年3月に高校を卒業予定の方は学校が指定する期日までに同校へ、それ以外の方は令和5年3月31日(金)までに青森県育英奨学会へ提出してください。

詳しくは、県庁HP

問合せ先 青森県育英奨学会(教職員課内) TEL 017-734-9820

母子父子寡婦福祉資金(修学資金・就学支度資金)

母子家庭・父子家庭・寡婦の方々にお子さんの修学資金等の貸付を行います。

- **対 象 等** 母子家庭の母が扶養する児童、父子家庭の父が扶養する児童、父母のいない児童又は寡婦が扶養する子
- **対象経費** 修学するための授業料、書籍代、通学費等及び就学するための被服等の購入に必要な資金
- **貸与限度額** ※高校、大学の場合
下の表にかかわらず、実際に貸付を受けられる金額は、申請される方の所得や高等教育の修学支援新制度の対象となるかどうかにより変更となります。

(修学資金月額)：修学期間中、毎月貸付が行われます。

	国・公立		私立	
	自宅通学者	自宅外通学者	自宅通学者	自宅外通学者
高校	27,000円	34,500円	45,000円	52,500円
大学	71,000円	108,500円	108,500円	146,000円

(就学支度資金)：原則、就学前に1度のみ貸付が行われます。

	国・公立		私立	
	自宅通学者	自宅外通学者	自宅通学者	自宅外通学者
高校	150,000円	160,000円	410,000円	420,000円
大学	410,000円	420,000円	580,000円	590,000円

- **返 還** 無利子で、貸与終了後6か月据え置き、20年以内に返還
- **申込方法** お住まいの地区の問合せ先までご相談ください。
※青森市にお住まいの方は青森市子育て支援課に、八戸市にお住まいの方は八戸市子ども家庭相談室に、お問い合わせください。

	窓 口	電話番号
問 合 せ 先	東青地域県民局地域健康福祉部福祉総室	017-734-9950
	中南地域県民局地域健康福祉部福祉総室	0172-35-1622
	三八地域県民局地域健康福祉部福祉総室	0178-27-4435
	西北地域県民局地域健康福祉部福祉こども総室	0173-35-2156
	上北地域県民局地域健康福祉部福祉こども総室	0176-62-2145
	下北地域県民局地域健康福祉部福祉こども総室	0175-22-2296
	青森市子育て支援課 八戸市子ども家庭相談室	017-734-5334 0178-38-0703

教育支援資金

低所得者世帯の方々にお子さんの修学資金の貸付を行います。

- **対 象** 他の貸付制度の利用が困難で、償還と自立が見込まれる低所得者世帯の方
- **貸与限度額**

	教育支援費/月	就学支度費
高等学校	35,000円以内	500,000円以内
高等専門学校・短期大学	60,000円以内	
大学	65,000円以内	

※教育支援費については、特に必要と認める場合に限り、貸与限度額の1.5倍の額まで貸付可能です。

- **返 還** 無利子で、卒業後6か月以内据え置き、20年以内に返還。
- **申込方法** 下記問合せ先までご相談ください。
- **問 合 せ 先** お住まいの市町村にある社会福祉協議会又は、
青森県社会福祉協議会地域福祉課 TEL 017-723-1391 (代表)

青森で生きる未来人財育成事業 ～高校生が活躍しています！～

「青森で生きる未来人財育成事業」とは？

高校生を地域で行われる子どものための活動に派遣し、異年齢交流により自己肯定感や主体性を高めることを目指す事業です。

step1

- 異年齢交流の意義
 - コミュニケーション能力向上の手法
 - レクリエーションの運営方法
- 等を学ぶ

230名以上が申込み！



全5講座の中から
3講座以上受講
(オンライン)

step2

ボランティアチーム員に登録し、放課後子ども教室や各地域のイベント等のボランティア活動に参加

令和4年10月1日現在 50名が登録！

～高校生が参加したボランティア活動～

- ①「子どもあそびの広場」小学生と工作活動〈五戸町〉(6/3)
- ②「東部児童センター」小学生と交流活動〈弘前市〉(8/19、20)
- ③「キッズハローワーク」お仕事体験の手伝い〈弘前市〉(9/18)
- ④「はちのへホコテン」魚釣り遊びの担当〈八戸市〉(9/25)
- ⑤「すてっぷ子ども教室」小学生と一緒に運動〈五所川原市〉(10/2)
- ⑥「Family café あづま～」子育てサロンの手伝い〈五所川原市〉(10/9)
- ⑦「青森県総合社会教育センター」映画鑑賞会の手伝い〈青森市〉(10/15)
- ⑧「青森献血ルーム」献血のボランティア〈青森市〉(10/16)

参加した高校生からは下記の感想が寄せられています。

「とても楽しかった！継続して参加したい。」
「価値観が広がり、いろいろな意味で勉強になった。」



～ボランティアチーム員の派遣をコーディネートします！～

放課後子ども教室や各地域のイベント等に高校生ボランティアを募集している市町村・団体は、下記までご連絡ください。派遣依頼内容と登録しているボランティアチーム員とをコーディネートします。

問合せ先 県総合社会教育センター 教育活動支援課 TEL 017-739-1270

ホームページ <https://www.alis.pref.aomori.lg.jp>

おしらせ

県教育委員会では、より良い紙面づくりのため、皆様からのご意見、ご感想、ご要望をお待ちしております。県教育庁教育政策課情報広報グループ広報担当 (TEL 017-734-9868) までご連絡ください。

冬休みづくりまわし大会

青森県の伝統的な玩具である「づくり」(こま)をどれだけ長く回せるかを競います。参加者全員に参加賞、1～3位の方に賞状と賞品を差し上げます。

回し方を教えますので初めての方でも大丈夫です(付き添いの方や幼児も体験できます)。ぜひご参加ください。

- 日 時/令和5年1月7日(土) 13:30～15:30
- 場 所/青森県総合社会教育センター 2階 大研修室
- 対 象/小学生(25名先着順)※事前のお申し込みが必要です。

- 参加料/無料
- 申込期間/12月13日(火)～12月23日(金)

問合せ先 青森県立郷土館 TEL 017-777-1585
<https://www.kyodokan.com>

青森県立郷土館



世界遺産でパシャッ! 北海道・北東北の縄文遺跡群 縄文フォトコンテスト2022 応募受付中!

「私の好きな縄文」をテーマに、北海道・北東北の縄文遺跡群で撮影した写真を募集しています。

受賞者には豪華景品をプレゼントします!また、受賞作品は北海道・北東北の縄文遺跡群公式HPに掲載します。応募は二次元コードを読み取るか、URL (<https://jomon-photo.jp/>)からお願いします。

- 応募締切/令和5年1月13日(金)
- 応募対象写真/令和4年4月以降、北海道・北東北の縄文遺跡群で撮影された写真



問合せ先 世界遺産北海道・北東北の縄文遺跡群フォトコンテスト事務局(株東奥アドシステム内) TEL 017-776-3771(平日9:00～17:00)

青森県立図書館からのお知らせ

◆おはなし会

読み聞かせボランティアと図書館職員による絵本の読み聞かせや、子供たちからリクエストのあった絵本の紹介を行います。

- 日 時/令和5年1月14日(土)、2月11日(土) 14:00～14:30

- 場 所/青森県立図書館4階集会室

◆おしえて先生!知るしるする探検隊

科学の実験やいろいろな仕事の人の交流、スポーツなどの体験、本の紹介などを行います。

- 日 時/令和5年1月28日(土)、2月25日(土) 14:00～14:30

- 場 所/青森県立図書館4階集会室

問合せ先 青森県立図書館 TEL 017-739-4211
<https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/>

青森県立図書館



エンジョイ!雪遊び

- 期 日/令和5年2月4日(土)・5日(日) ※どちらか1日参加

- 対 象/4歳以上のお子さんとその家族

- 募集人員/各日100名

- 内 容/スノーチューブすべり、そり遊び、たこあげ等

- 募集期間/令和5年1月5日(木)～7日(土)

※詳しくはホームページをご覧ください。

問合せ先 種差少年自然の家 TEL 0178-38-2131
<http://taneshashi.jp/>

種差少年自然の家



梵珠少年自然の家からのお知らせ

◆冬を楽しむホワイトday

真冬の自然に親しむための野外活動や炊事体験を通して、家族のふれあいを深めます。

- 期 日/令和5年2月5日(日)【即日】
- 対 象/小・中学校の児童生徒を含む保護者とその家族
- 募集人員/30家族(先着順)
- 内 容/野外活動、館内炊事
- 募集期間/令和5年1月18日(水)～27日(金)
- 応募方法/お電話で必要事項をお知らせください。
- そ の 他/参加費あり

※詳しくはホームページをご覧ください。

◆7歳ワンツーカーキャンプ

小学校低学年の子どもたちが親元を離れて共同生活や自然体験活動を行うことを通して、基本的な生活習慣を身につけ、仲間と協力しようとする心を育てるキャンプです。

- 期 日/令和5年2月18日(土)～19日(日)【1泊2日】
- 対 象/小学1・2年生の児童
- 募集人員/20名 ※申し込み多数の場合は抽選により決定します。

- 内 容/野外活動、館内炊事、創作活動等
- 募集期間/令和5年1月16日(月)～25日(水)
- 応募方法/募集案内裏面のエントリーシート(ホームページからダウンロードするか、学校配布のものもらう)に必要内容を記入の上、郵送又はFAXでお申し込みください。

※詳しくはホームページをご覧ください。

問合せ先 梵珠少年自然の家 TEL 0173-29-3303
<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-bonju/index.html>

梵珠少年自然の家



※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の中止・延期又は事業内容を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

〈広告〉県では、財源確保などのため広告を掲載しています。なお、掲載する広告は、青森県が推奨するものではなく、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。